

いのち支える久慈市自殺対策計画

～誰も自殺に追い込まれることのない久慈市～



【久慈市自殺対策計画】

平成 28 年 4 月に自殺対策基本法が改正され、同法第 13 条第 2 項において市町村は自殺対策計画を策定することとされました。また、平成 29 年 7 月には自殺総合対策大綱の見直しが行われ、地方公共団体は関係機関や関係団体と緊密に連携・協働しながら自殺対策を推進することとされております。

本市におきましても、関係機関・関係団体で構成する「久慈市自殺対策推進ネットワーク連絡会」の設立及び部局横断的な支援体制を構築するとともに、市民一人一人がこころの健康づくりの大切さを認識し、お互いに支えあうための指針として、「いのち支える久慈市自殺対策計画」を策定いたしました。

【目標値】

自殺総合対策大綱では、2026 年までに 2015 年（平成 27 年）と比べて自殺死亡率（人口 10 万人あたりの自殺者数）を 30% 減少させることとしています。（2015 年 18.5 人⇒13.0 人以下）

		2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)	2024 (H36)	2025 (H37)
		大綱基準年	いのち支える久慈市自殺対策計画期間									大綱目標年
全国	自殺死亡率	18.5										13.0
	減少率(対H27)											▲30.0
	自殺者数(人)											16,000
市	自殺死亡率	27.5 (H24～H28 平均値)				25.8	24.2	22.5	20.9	19.2		
	減少率(対H24～H28)					▲6.0	▲12.0	▲18.0	▲24.0	▲30.0		
	自殺者数(人)					8.8	8.2	7.5	6.9	6.3		

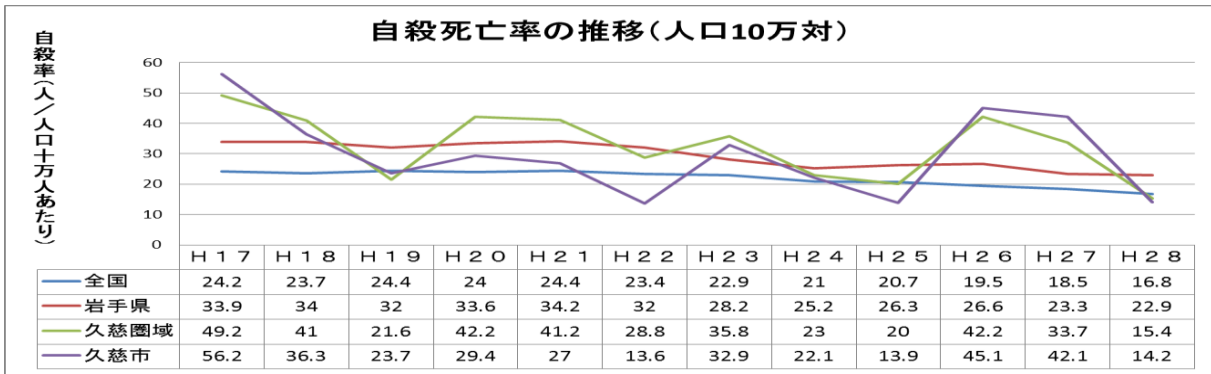
注) 平成 30 年以降の市の自殺者数は、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の都道府県別将来推計人口」を基に試算。

本市は全国的にも自殺率の高い地域であり、平成 27 年の自殺死亡率が 42.1 人と高かったことから、国の基準とは別に平成 24 年から 28 年までの自殺死亡率の平均値 27.5 人を 30% 減少させることとし、2023 年の自殺死亡率を 19.2 人（自殺者数 6.3 人）まで減少させることを目標とします。

本計画に基づき、「誰も自殺に追い込まれることのない久慈市」の実現を目指してまいります。

【久慈市の現状】

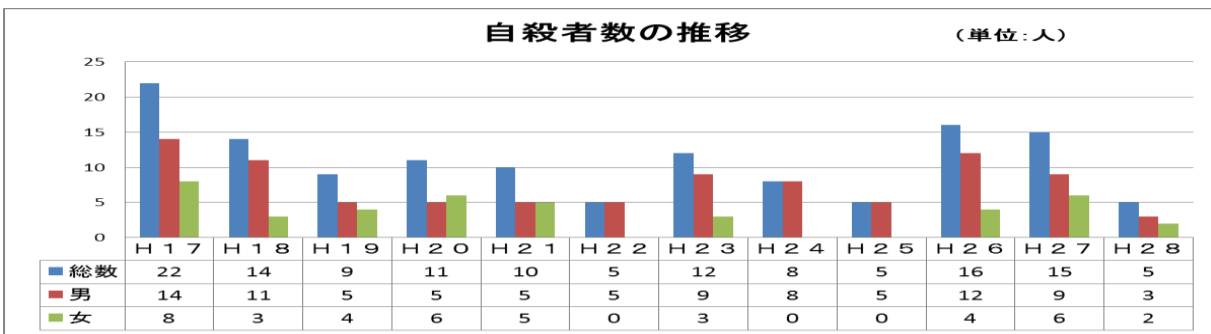
(1) 自殺死亡率の年次推移



資料：厚生労働省（人口動態統計）、保健福祉年報（人口動態編）

国の自殺死亡率は平成 21 年以降減少しており、県も減少傾向にあります。久慈圏域及び本市では大きく増減を繰り返していますが、減少傾向にあります。

(2) 自殺者数の推移



資料：保健福祉年報（人口動態編）

自殺者は平成 17 年から平成 28 年の間では、男性 91 名（68.9%）、女性 41 名（31.1%）と男性が多くなっています。

(3) 自殺の特徴 (H24~28 合計)

上位 5 区分	自殺者数 5 年計	割合	自殺率 (10 万対)	背景にある主な自殺の 危機経路
1 位: 男性 40~59 歳無職同居	9	19.6%	485.9	失業→生活苦→借金+家族間の不和→うつ状態→自殺
2 位: 男性 60 歳以上無職同居	9	19.6%	63.1	失業(退職)→生活苦+介護の悩み(疲れ)+身体疾患→自殺
3 位: 女性 60 歳以上無職同居	8	17.4%	32.9	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
4 位: 男性 40~59 歳有職同居	5	10.9%	27.8	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺
5 位: 男性 40~59 歳無職独居	3	6.5%	503.3	失業→生活苦→借金→うつ状態→自殺

資料：自殺実態プロフィール

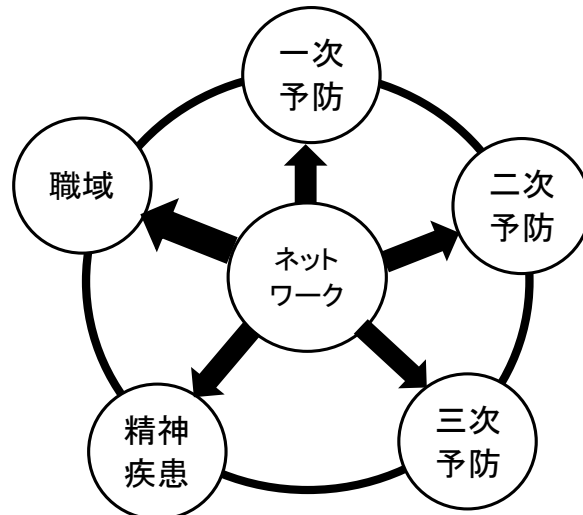
本市における自殺の特徴の上位 3 区分の性・年代等の特性と「背景にある主な自殺の危機経路」を参考に、自殺実態プロフィールにおいて「無職者・失業者」「生活困窮者」「高齢者」が重点施策として推奨されました。

基本施策

「誰も自殺に追い込まれることのない久慈市」を目指すためには、国や各関係機関や団体の方々と緊密に連携・協働しながら自殺対策を総合的に推進することが必要です。

これまで、県の計画である「岩手県自殺対策アクションプラン」において、自殺対策として効果が確認されている6つの骨子による「包括的な自殺対策プログラム（久慈モデル）」により、成果を上げてきていることから、この「包括的な自殺対策プログラム」を基本施策として次の取り組みを行うこととします。

また、子ども・若者の自殺対策も重要であることから「児童生徒のこころの危機に対応するための支援者向け教育」も基本施策に加え取り組みを行います。



① 地域におけるネットワークの強化

久慈市いのち支える自殺対策推進本部全体会議・実務者会議、久慈市自殺対策推進ネットワーク連絡会 等

② 一次予防 (住民全体へのアプローチ)

普及啓発、ゲートキーパーや傾聴ボランティア養成、健康教室 等

③ 二次予防 (ハイリスク者へのアプローチ)

電話・対面相談、訪問・見守り活動、自殺未遂者支援等

④ 三次予防 (自死遺族へのアプローチ)

自死遺族支援

⑤ 精神疾患へのアプローチ

うつ病、統合失調症、アルコール関連問題等、産後うつ対策

⑥ 職域へのアプローチ

勤労者のメンタルヘルスケア推進、離職者への支援

⑦ 児童生徒のこころの危機に対応するための支援者向け教育

学校教育関係者向け講座、児童生徒・保護者向けパンフレットの配布

重点施策

基本施策として取り組む中で、特に重点として行うものをここでは取り上げます。本市の自殺の特徴から、「無職者・失業者」「生活困窮者」「高齢者」の3項目に加え、「震災等被災者」「子ども・若者」に対する取り組みを進めます。

① 無職者・失業者	電話・対面相談、普及啓発 等
② 生活困窮者	各種相談会、ゲートキーパー養成 等
③ 高齢者	電話・対面相談、介護者への支援 等
④ 震災等被災者	電話・対面相談・訪問、災害援護者支援 等
⑤ 子ども・若者	電話・対面相談、普及啓発 等

いのち支える久慈市のネットワーク

自殺対策 推進本部

- ・市長をトップとした庁内組織を設置し、庁内関係部署の既存の事業を最大限活用した横断的な支援体制の構築を図る。
- ・緊密な連携と協力を図り、自殺対策を総合的に推進するための会議を開催する。

自殺対策 ネットワーク

- ・保健医療福祉、教育、職域、警察・法務、消防、民間団体、ボランティア等様々な機関のネットワークにより、地域の自殺対策を効果的に推進するための会議を開催する。
- ・ハイリスク者の早期発見・早期介入のため対策の検討や連絡体制の構築を図る。

市民

- ・ゲートキーパーの知識を身につけるための研修を受け、地域の見守りを行う。
- ・必要に応じて専門家につなぎ、見守っていくという役割を担う。

これらのネットワークにより

誰も自殺に追い込まれることのない久慈市を目指します。